

2023年度

第22回宝塚市子ども議会 事前学習会(7月25日)



やまさきしちょう
山崎市長から一人ずつ委嘱状^{いしよくじょう}の交付を受けたあと、自己紹介^{じこしょうかい}をしました。



よろしく
お願いします！

学校名、学年、名前を言って、あいさつをします。少しきんちょう・・・



みんなの中から、議長と副議長を決めます。

せつきよくてき
積極的に手が挙がり、議長は安倉北小学校6年の小宮路実子^{こみやじみこ}さん、副議長は雲雀丘学園小学校6年の
こばやしゆめ
小林友愛さんに決まりました。二人には当日の議事進行^{ぎじしんこう}をしてもらいます。



こうし
講師の浜田進士^{はまだしんじ}先生によるワークショップ

『子どもには聴いてもらえる権利がある』を受けて、
子どもの権利について学びました。

近くのお友達と意見交換などをしながら、自分の意見
をたくさん出し合いました。

色んな意見が
あるなあ～

ワークショップの後は、自分たちの提案について市の担当者からヒアリングを受けました。



ワークショップにヒアリング、たくさんこなして少し疲れた様子・・・
でも最後まで集中力を切らず、がんばりました！

第22回宝塚市子ども議会(8月21日)

午前中は、市議会の議長・副議長さんにごあいさつをしました。
その後は、本番に向けてリハーサル。

本番では堂々とした姿勢で提案しました！



良い経験になりました！

本番の様子は、DVD や後日お送りする会議録を見てくださいね。

会議録はカラー版で、市のホームページにも掲載する予定です。

【ページID：1001063】で検索してください。



～最後に～

子ども議会って？

宝塚市では、子ども条例の趣旨^{しゆし}をふまえて、「子ども議会」を実施^{じっし}しています。

子どもにまちの仕組みや実態^{じったい}を知ってもらい、政治や行政に関心をもってもらうこと、そして、子どもの視点からまちづくりについて意見を聴^きいて、市の仕事に反映^{はんえい}させることが目的です。

子ども議会は今年度で第22回を数え、これまでに762人の子ども議員が誕生しています。

これまでたくさんの意見をいただいてきましたが、その中で実現したものとしては、市立の小中学校の冷房化や交差点付近への注意喚起^{ちゅういかんき}の看板^{かんばん}の設置^{せいち}などがあり、令和4年度も、市内で販売されている炭酸せんべい等を紹介する和菓子チラシの配布により、まちの名物のPRが実現しました。

いただいた意見の中には、実現が難^{むずか}しかったり、すぐにはできなかったりすることもあります。みなさんの声はしっかりと受け止めていきたいと考えています。

子ども条例って知っていますか？

小学4年生・中学1年生向けに、子ども条例のパンフレットを配布しています。

条例というのは、宝塚市の法律^{ほうりつ}、つまり宝塚市の約束ごとです。

子どもたちが健やか^{すこ}かに育っていくように、「市役所」「学校」「地域の人」などの役割^{やくわり}が書かれています。

その第14条に、「市は、子どもも社会の一員と認め、子どもたちが持っている思いを発表する場所をつくれます」とあります。これが、「子ども議会」です。子ども議員が、市内の子どもの代表として、子どもの思いを市長や教育長に伝えています。

宝塚市子ども条例

【ページID：1001246】



(お問い合わせ先)

宝塚市役所 子ども未来部 子ども政策課

TEL (0797) 77-2419 (直通) / FAX (0797) 77-2800

E-Mail : m-takarazuka0051@city.takarazuka.lg.jp